



佐世保市立中里中学校
学校だより No. 36
発行日 R5.1.27
発行者 眞弓 健一

志

～今よりももう一歩先へ～

【校訓】 自主・実践・創造
【学校教育目標】
学び合い、磨き合い、鍛え合う生徒の育成
中里中ホームページ



勉強や学校は何のため？～自分なりの目的を持とう～

中里中の図書館には、いろいろな本が置いてあります。先日図書館に出向いた時に「**なぜ僕らは働くのか**」(池上彰 監修 学研プラス発行)という本と偶然出会い、読み進めました。その中に標記のことについて、わかりやすく書かれてありましたので抜粋して紹介します。

勉強を、大きく「**学校の勉強**」と、それ以外の「**自主的にする勉強**」の2つに分けて考えてみましょう。自主的にする勉強は自分の興味があることや、自分が必要だと思ったことを学びます。大人がする勉強の多くは、これにあたるでしょう。仕事に必要な知識を学んだり、読んでみたいテーマの本を読んだりして、自分を成長させるのです。この勉強は、自分にあった勉強をしていることもあり、大事だと感じる人は多いでしょう。では、みんな平等に課せられる学校の勉強は、大事ではないのでしょうか。いいえ、そんなことはありません。

まず、**学校の勉強は社会に出るための基礎体力になります**。学校で習う内容は、かなりの部分が社会を生きるための力と関わってきます。漢字や計算などは想像しやすいでしょうし、歴史や理科は生活に密着しています。直接的な結びつきでなくとも、学校で教わった知識や考え方が基盤となって、仕事に活かされることはよくあります。

次に、**学校の勉強は、将来の選択肢を広げるのに役に立ちます**。ご存じの通り、小中学校で学ぶことは高校や大学の入学試験に出てくる内容でもあります。学校の勉強をやって**学歴**を得ると、就職活動のときに就ける仕事の幅が広がるのです。

また、**学校の勉強を頑張ることで自信が得られる場合もあります**。「解けなかった問題が解けるようになった」「友達に教えてあげることができて喜んでもらった」など、学校の勉強にしっかりと取り組むことで自信を得る経験ができれば、それは立派な成功体験といえるでしょう。

学歴ということばが出てきましたが、この本では「**学歴は大事だが、それがすべてではない**」「**幸せな生き方・働き方はあなたが決める**」「**挫折や困難があなたを強くやさしい人にする**」「**人生に正解はない。いろいろやってみよう**」など、中学生の皆さんへ熱い応援メッセージが述べられています。皆さんには目的をもった生き方をしてほしいと思います。ぜひ、手にとって読んでみてください。

□第26回新春書初め大会

中里皆瀬地区自治協議会主催の新春書初め大会が開催され、以下の6名の皆さんが入賞しました。おめでとうございます。作品は中里皆瀬地区コミュニティーセンター内に2月16日～3月5日に展示されます。

【金賞】 小村優那さん(1年)
【銀賞】 久野桜来さん(1年) 山口菜月さん(3年)
【銅賞】 古川康太さん(1年) 山田光璃さん(2年)
前田実南さん(2年)

□ソフトテニス部 県大会へ

1月21日(土)に開催された県下中学生春季選手権大会において、以下のペアが勝ち上がり、3月に開催される県大会出場を果たしました。頑張ってください。

【男子】 熊本琉伊・松田孝輝ペア(第3位)
久田未弥・林田海斗ペア
林田空輝・大庭碧ペア
【女子】 尾崎くるみ・鬼塚美琴ペア
山田光璃・山下あかりペア